

2020-2021年度 主題



国際会長 Jacob Kristensen (DK)
 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
 “Values, Extension and Leadership”
 アジア太平洋地域会長 David Lua (SG)
 「変化をもたらそう」 “Make a Different”
 東日本区理事 板村哲也 (東京武蔵野多摩)
 「変化をたのしもう」 “Let's enjoy Changes”
 クラブ会長 鈴木 茂
 「相手の立場になって考え、行動しよう！」
 会長スローガン 「思いやりのあるクラブ運営！」

クラブ役員
 会長 鈴木 茂
 副会長 辻 剛
 書記 今城高之
 会計 鈴木恭子

今月の聖句

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます。」

Ⅱ コリント書4：16

《巻頭メッセージ》

～新クラブ会長の就任メッセージ～

会長主題：相手の立場に立って考え、行動しよう！

会長 鈴木 茂



今期のクラブ会長を仰せつかりました鈴木 茂です。3回目の会長登板になりますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当クラブの特色は、チャーター後やっと十数年を経たばかりなのに、東日本区の中でも有数の高齢会員クラブになってしまったことです。足腰の衰えはもとより、頭の働きもままならない私たちですが、そうした高齢者でも仲良くクラブ活動を楽しみ、奉仕活動に励むことができるようにと願い、標記の今期会長主題を掲げさせていただきました。主題に呼応して今期スローガンも、クラブとしての協調性、一体性を重視する立場から、「思いやりのあるクラブ運営！」をご提案したいと思います。

クラブ総会でご説明した今期のクラブ活動方針でも触れましたが、ワイズメンズクラブの本質は親睦団体であると同時に、YMCAや地域社会への奉仕団体であるという二面性にあります。親しくなった者たちが世の人びとに役立つ奉仕をするために、私たちは自分勝手な思いではなく、相手の立場に立って考え、相手の方々が喜んで下さる活動に励みたいと思います。また、クラブ内でもお互いが相手の立場を思いやり、助け合って奉仕の業に励みたいと思います。

コロナ病禍によって、私たちのクラブ活動も大きな制約を受けました。今後とも私たちは、ウイルスに限らず地震、津波、台風、洪水など様々な災害・災難の試練を覚悟しなければなりません。YMCAや地域への奉仕活動の中に、災害・災難への一層の備えや支援も加えて行きたいと思えます。

さて横浜つづきクラブは前記のように、典型的な高齢者クラブになっています。このままですと、私たちの代だけでこのクラブは消滅してしまいます。ワイズメンズクラブは単なる「仲良しクラブ」ではありません。私たちは微力ながらも、世のため、人のために役立つと考えるクラブ活動に参加しています。私たちには、このクラブを今後とも存続させ、発展させる義務と責任があります。この義務と責任の証しとして、改めて真剣に会員増強に努めたいと思います。“Change!2022”運動にクラブ全体として積極的に参加し、新会員勧誘に取り組みたいと思います。 (完)

7月本例会 プログラム

司会：辻剛 受付：今城宏子
 日時 7月24日（金）14:30～
 場所 かけはし都筑

- ◇開会点鐘 前会長
- ◇ワイズソング・ワイズの信条
- ◇今月の聖句 相賀牧師
- ◇ゲスト・ビジター紹介 司会
- ◇会長引継ぎ・就任式 古田部長
- ◇役員就任式 ”
- ◇新会員入会式 鈴木会長
- ◇新会長挨拶 鈴木会長
- ◇クラブ総会 鈴木会長
- ◇部長挨拶 古田部長
- ◇YMCA報告 鴨下館長
- ◇Happy Birthday
 - 7/1 岡田美和
 - 7/12 杉本千津子
 - 7/22 三木直子
 - 7/31 今城高之
- ◇閉会点鐘 新会長



《例会報告》 ～本例会再開～ 本年1月度を最後に、コロナ禍蔓延により長らく休会となっていたクラブ本例会を久しぶりに開催することが出来ました。幸いにも、メンバー誰一人新型コロナに感染したのものもなく、所用で参加できなかった2名を除き全員参加となり、嬉しい再会を互いに喜び合うことができました、

日時：6月26日(金) 14:30～16:30

@かけはし都筑

出席：相賀、今城T・H、岡崎、岡田、鴨下、胡麻尻、杉本、鈴木K・S、辻Ta・Ts、林S、福島、三木、横田 (計16名)

司会：辻剛 受付：今城宏子

1. 開会点鐘 会長
2. 全員で、力強く、しかし小声でワイズソング、ワイズ信条を唱和した。5か月振り！



(ソーシャルディスタンスをたっぷり確保して)

3. 今月の聖句：詩編107：2～3とメッセージ・祈禱を相賀チャプレンから頂いた。

「今までの日々を守られたことを感謝。主は私達を見捨てられず、この日を迎えられた。互いに配慮しつつYMCAとワイズも神様によって呼び集められたことを思い、目標を明確にし、歩みたい。他者のために労することができるよう。」

4. ゲスト・ビジター紹介

ご病氣療養中の功労会員、辻孝子さんが5年ぶりに出席された！ 全員で歓迎の意を表した。

5. 会長挨拶ならびに会員の近況報告
担当主事の紹介

◇2月から富士山例会を含む計5回の本例会が抜けた年を振り返ると、大雨による10月の移動例会中止、部長の都合による部長訪問中止、新型コロナウィルス感染拡大による沖縄訪問、十勝の区大会などすべてが中止となったが皆様のご支援に深く

感謝。今日は、ほぼ全員の出席を得て会が開けたことを感謝。

- ◇4月から新しく当クラブの担当主事になられた鴨下純久北YMCA館長が紹介された。
- ◇引き続き各メンバー一人一人の近況報告がされた。

6. 2020—2021年度クラブ運営について

①会長主題とクラブ活動方針について；
鈴木茂次期会長

②2020—21年度クラブ役員他について：同上

③2020—21年度クラブ役割分担について：同上

④2020—21年度クラブ・部・区・横浜YMCA等の行事予定について：同上

⑤クラブメンバーリストについて：同上

⑥主なクラブ行事について：同上

本例会及び事務例会の開催時間を当面は14:30～16:00とする。

7. TKBより被災地支援として行ってきた誕生カード作成と送付を中止し、クリスマスカードを送る予定であることを報告。

8. HAPPY BIRTHDAY

(2月～6月までの方々へクッキーをプレゼント)

1月生まれの鴨下さんにも！

9. チャーターメンバーの岡田勝美さんが一身上の都合により6月末をもって退会されるとの報告があった。
大変残念！！

※クラブ恒例の本例会後の会食会は、当面の間自粛することとなった。

(今城宏子 記)



(勿論、全員マスク姿で参加し、それぞれの近況を報告しました。)

《例会予告》8月の例会（28日金）において卓話をして下さる、横浜YMCA会員の松橋秀之さんをご紹介します。卓話のテーマは「児童虐待と社会的擁護」です。

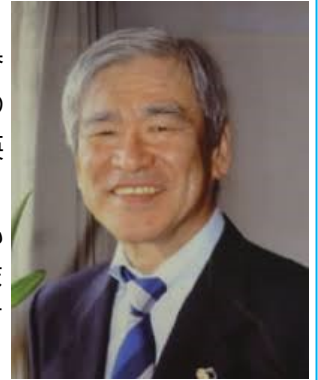
松橋秀之さんプロフィール

1952年大阪市生まれ（68歳）
日本基督教団蒔田教会員。

東京にある児童養護施設「のぞみの家」の児童指導員を経て、1977年、社会福祉職として横浜市に入職。児童福祉の仕事の続け、横浜市北部児童相談所長、横浜市南部児童相談所長等を歴任し、2009年3月末横浜市を56歳で退職。同年4月1日より児童養護施設「日本水上学園」園長。2018年3月末で同学園を定年退職。

現在は、社会福祉法人「のぞみの家」理事長、社会福祉法人「横浜いのちの電話」理事長、公益財団法人

「横浜YMCA」理事・常議員、名古屋市児童虐待対策参与、こどもみらい横浜（里親の会）理事・事務局長、東洋英和女学院大学非常勤講師、法務省人権擁護委員、子どもの電話相談をしている「よこはまチャイルドライン」等の活動をしている。



（松橋さん談）これまで関わらせていただいた子どもたち、親たちから教えていただいたことを大切にしながら話をしていきたいと思っています。

北Y便り

横浜北YMCA・健康教育部

森山真治

横浜YMCAでは、毎年夏休みを前に、子どもたちを水の事故から守る為、ウォーターセーフティーキャンペーン（水上安全教育活動）を実施しています。

昨年度、水難事故の発生件数は1,298件であり、その内、子どもの水難事故が118件とのこと。事故が発生する場所は、全体の約9割が海や川で発生しています。ウォーターセーフティーキャンペーンでは、子どもたちが海や川、プールなどで遊ぶ時に注意することを学び、万一溺れてしまった時の対処方法や、溺れている人を見かけた場合の助け方、心肺蘇生法などをご家族の方と一緒に学びます。衣服を着用したままプールに入る「着衣泳」体験では、水辺の出入りを想定して、腹ばいになり、床との接点を多くして滑りにくくする方法や、衣服を着用したままプールに入り、衣服を着用したまま水に入ると、身体がどのようになり、溺れてしまうかを学びます。また、水辺に身体を浮かべ、助けが来るまで待つ方法を繰り返し体験します。溺れてしまった時は、「浮いて待て」が原則です。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響もあり、着衣泳体験会は中止となりました。このような状況を踏まえ、今年度はウォーターセーフティーキャンペーンの内

容を動画にまとめ、その動画を皆様に配信して学びを深めていただいています。館内でも放映しておりますが、是非、皆様もご覧いただき、身近な方に伝えていただきたいと思います。今年は特に海水浴場も開設されない状況の中、YMCAに関わる方はもちろん、水を介した事故が発生しないことを願っています。横浜北YMCAでは、今後も神様から与えられた命を大切に守り育てる活動を継続して取り組んでいきたいと思っています。（完）



（6月のデータ）

例会出席	16名	在籍会員数	18名	各種記録	前月	年度累計
メンバー	16名	月間出席者数	16名	使用済み切手	0	0
ビジター	1名	メーカー	1名	スマイル	0	41,000円
ゲスト	1名	月間出席率	94%			

《7月事務例会報告》

日時：7月14日 14:30-16:30

場所：田園都筑教会

出席者：今城T・H、岡崎、岡田、鈴木K・S、辻Ts、
林S、福島、横田（計10名）

長い休会期間が明け、久しぶり、かつ新年度最初の事務例会を開催しました。コロナ対策として通常の18:00から14:30スタートとしました。

《議事次第》

開会点鐘 今城T直前会長

会長挨拶 //

新型コロナ禍による長い自粛期間、更には昨年秋の台風等による影響で、準備した多くのプログラムを中止せざるを得ず、大変残念な年度となった。

協議事項

① 2019-2020年度クラブ活動報告（今城T）

- ・7月開催のクラブ総会に提出する活動報告をお示ししてメンバーに説明した。
- ・予定した多くのプログラムが、天候異変、新型コロナ禍等により実施できなかった。

② 2019-2020年度クラブ会計決算報告（今城H）

- ・同じく、総会に提出する決算報告書をお示ししてメンバーの承認を頂いた。
- ・見かけ上収入が多かったが、内9万円は新年度の会費前受分である。

③ 2019-2020年度クラブ会計監査報告

- ・横田監事より監査報告の提出があり、会計業務が適正に実施されたことの報告があった。

④ 2020-2021年度クラブ会計予算（鈴木S）

- ・救済措置として上期の区費が免除となる予定ではあるが極めてタイトな予算となる見込み。

⑤ 2020-2021年度クラブ運営方針（鈴木S）

- ・本例会会場は従来通り「かけはし都筑」、事務例会は奇数月は田園都筑教会、偶数月は夢Caféを利用する。
- ・事務例会、本例会ともに、新型コロナ禍収束までは14:30開会とする。
- ・プリン発行については、担当者より改めてメンバーの協力が要請された。

⑥ 10月の移動例会

- ・鈴木新会長より、移動例会の持ち方について提案され検討要請があった。
- ・意見交換を行い、通常通りの1日バス旅行はコロナ対策上も行わないことで一致を見たが、近場の小旅行とするか実施しないかの結論は持ち越しとなった。

⑦ 特別プロジェクト（Change2022!）（辻Ts）

- ・近々アンケート調査が実施されるとのことで、協力要請があった。
- ・部エクステンション委員会の今年度の活動方針は8月に予定の第1回委員会にて審議する予定

⑧ 報告

- ・第1回区役員会の報告があった。（辻Ts）
- ・7月25日に開催予定の部評議会へは、鈴木会長、辻副会長、今城書記が出席する。

⑨ 今後の行事予定

7月24日の本例会は、クラブ総会並びに部長公式問が併催される。部長訪問には、古田和彦部長のほか、伊藤正彦書記、佐藤節子ユース事業主査が同行の予定。

⑩ 黙祷をもって閉会の後会場の消毒を行って散会。

（今城高之 記）

《ちょっとした話》

今回の新型コロナウイルス騒ぎでもそうですが、関連の情報が様々なメディアに溢れており、何が正しいのか、どれがフェイクニュースなのか見極めるのが大変難しいことに戸惑っている人が多いのではないのでしょうか。そんな疑問に答える記事が先日の朝日新聞に掲載されていました。寄稿者は聖路加国際大学中山和弘（なかやま・かずひろ）教授です。教授が言われるには、日本人は、自らの健康に関わる情報を集めて行動の選択肢をつくり、適切に選んで役立てる能力「ヘルスリテラシー」が弱い傾向があるとのこと。医学的知識が絡む問題を医者任せにしがちなことが理由のようですが、その先生が、偽情報を見抜く五つのポイント、「か・ち・も・な・い」（価値もない）を教えてください。

す。

か：書いた人は誰ですか？（信頼できる専門家ですか？）

ち：違う情報と比べましたか？（他の情報と矛盾はありませんか？）

も：元ネタは何ですか？（根拠となるデータはありますか？）

な：何のために書かれていますか？（お金儲けが目的の情報ではありませんか？）

い：いつの情報ですか？（今も変わりありませんか？）

ヘルスリテラシーを高めて自らの健康を守りましょう。

（完：編集子）